



お正月に年賀状をもらった経験から年賀状を書く姿がみられ、さくら郵便局がはじまりました。年賀状作りでは、友達だけでなく、年下児のことを思い浮かべながら、「どんな絵が喜ぶかな」「何色が好きかな」と相手の立場になって考える姿がみられました。完成した年賀状を郵便屋さんになって届けると、年下児から「ありがとう」と言われ、少し照れながらも誇らしそうな表情を浮かべていた子どもたち。文字や絵を使って、自分の思いや気持ちを表現する楽しさを味わい、年下児との関わりを通して、思いやりやいたわりの気持ちを育てることができたと思います。年長児としての自覚や優しさが感じられました。



毎週金曜日は
けん玉検定です！



けん玉に挑戦
はじめは思うように玉が乗らず、「むずかしい」と言って苦戦していた子どもたちですが、繰り返し挑戦する中で、少しずつコツをつかみ、「できた」「もう一回やってみる」と意欲的に取り組む姿が見られるようになりました。友だち同士で教え合ったり、成功を一緒に喜んだりする姿が増えています。また、けん玉検定も始まり、「検定で合格するんだ！」とやる気を持って取り組んでいます。けん玉に取り組むことで、手首や腕の動きを調整しながら遊び、集中力や巧緻性を高めることにつながります。また、繰り返し挑戦する中で、あきらめずに取り組む気持ちも育ちます。できた喜びや挑戦する楽しさを感じながら、子どもたちの自信につながっています。今後も遊びを通して、心と体の成長を大切にしていきたいと思えます。



節分

節分は、季節の変わり目に邪気を払い、無病息災や幸福を願う日本の伝統行事です。今年は張り子という方法で鬼のお面づくりを楽しみました。風船に新聞→白紙→和紙の順に貼り、乾かして二つに切ると二人分できるので、友達と協力して作っています。張り子を作るのに必要な新聞や白紙を貼りやすい大きさに切るなど、材料も自分たちで準備しました。工程が多いので、時間をかけてじっくり作り上げていくことになります。鬼の顔は、モールや毛糸などのいろいろな素材を使い、思い思いに表現しました。たくさんの工程を一つ一つ丁寧に進め、完成させた子どもたち。試行錯誤しながらも、根気よく取り組む力や、完成したときの達成感を味わいました。



お忙しい中、保育参観へのご参加ありがとうございました。嬉しく思っています。様々なご理解ご協力ありがとうございました。